

# 感謝・克己・慧眼

## 卒業まであと36日

予想されていたとおりの暖冬傾向で、昨日まで実施されていた私立高校一般入試でも、例年懸念されている『雪による交通障害』もなく、無事に終了することができました。公立高校の受験を検討しているご家庭は、私立高校の合否もさることながら、1か月後の入試に向けて緊張感のある日々が続きますね。上手にメンタルコントロールをしながら、ともに乗り越えていきましょう。

入試の時期が迫ってきているということは、卒業の日も近づいてきている訳で…。学年委員の生徒たちが、卒業までのカウントダウンカレンダーを制作し、保健室前に掲示を始めました。本日時点であと36日。学校に来る日数だけでカウントするとあと24日ということになります。

この限られた日数の中で、中学生としての締めくくりと、次のステップに進むための準備をしていかなければなりません。お世話になった方々に感謝の気持ちを伝え【感謝】、入試のプレッシャーや進路決定後の墮落しそうな気持ちに打ち勝ち【克己】、物事の本質を見極める力を養い【慧眼】ながら、卒業の日を迎えられるよう、我々も声掛けしていきたいと思えます。



## 私立一般から公立出願まで

- ①私立の入試が2月1日に終了しました。私立の合格発表は2月4～5日です。2月7日に公立高校の出願書類を中学校に提出していただくこととなります。かなりタイトなスケジュールですので、あらかじめ、「私立A高校にスライドせずに合格したら公立B高校を受験するが、A高校がスライド合格だったら公立C高校を受験する」のようなパターンをご家庭で相談しておく、私立合否発表後の流れがスムーズかと思えます。ご検討ください。
- ②検定料取り扱いの違いについてです。県立高校を受験する場合は、検定料を封筒に入れて中学校に提出してください。仙台市立高校を受験する場合は、金融機関に選抜手数料を納入し、納入通知書兼領収書を願書裏面に貼り付けて中学校に提出してください。
- ③二つの私立高校を受験して両校とも合格した場合には、どちらか一つの高校に一次手続きをすることになるかと思えます。合格特典などの諸条件によって考えが揺らぐこともあるでしょう。第一に考えていただきたいのは、『公立高校が不合格だったときに通う高校になる』ということです。ご家庭でよく相談していただければと思います。一次手続き期間は各高校で異なりますので、募集要項をよく確認の上手続きを進め、その後中学校に提出書類 No.5「私立・通信制高校一般入試一次手続き報告書」を提出してください。

※詳しくは、お手元の「進路のてびき」または進路だよりをご覧ください。

2月4・5日	私立一般合格発表
2月 7日	公立高校出願書類 提出×切日 【・公立高願書 ・検定料 ・写真 ・提出書類 No.4「公立高受験申請書」】
2月16日	提出書類 No.5「私立・通信制高校一般入試一次手続き報告書」 提出×切日